

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム なごみ

目標達成計画

作成日：令和 5 年 12 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	マンネリ化を防ぐために参加人数を増やしてみたいかがでしょうか。	議題に合った職種の方を招いてその議題についての知識を深める。	・年度初めに年間の議題予定を作成し、その議題に合った関係者に会議の糸を説明し協力を依頼する。	12ヶ月
2	6 (5)	スピーチロックについてさらに知識を深めてみたいかがでしょうか。	リスクを意識し過ぎたケアがなくなる。「待つて。」を使わないケアができる。	①入居者の行動について、何が危険でそうでないかを見直し、どの行動にどんな対応をするか話あう。②”待つてのないケア”と大きく張り出し、どんな時に「待つて」を言ってしまったか、その日のうちに記録する。それを月の会議で話し合い、どんな言葉かけが良かったかをみんなで考える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。